

学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

7月号



# 黒門

発行日 令和5年6月30日  
発行者 台東区立黒門小学校  
校長 石田 隆

## 「Well-Being(幸せ)の実現を目指す学校」と黒門小の約束10

副校長 岩崎 公慈

6月、11月、2月は「ふれあい月間」です。いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子供たちの健全育成を目指した取組を行うこの期間は、「Well-Being(幸せ)の実現を目指す」本校にとって大切な期間です。ふれあい月間には、児童に「黒門小の約束10」がしっかりと守られているか、「友だちアンケート」を実施しています。6月は入学・進級してからここまでの学校生活を振り返り、担任による聞き取りを丁寧に行いました。

### 黒門小の約束10

わたしたち黒門小の子どもは…

- ◆ 友達のことを隠したり壊したりしません。
- ◆ 友達に対して、暴力（殴ったり蹴ったりなど）をふるいません。
- ◆ 友だちをいやなあだ名や呼び捨てで呼びません。
- ◆ 友だちの悪口を言いません。
- ◆ 友だちのいやなうわさ話をしません。
- ◆ 友だちのことを仲間はずれにしたり無視したりしません。
- ◆ 友だちが嫌がる遊び方をしません。
- ◆ 友だちの悪口などを書いたメモや手紙のやりとりをしません。
- ◆ 友だちの失敗を責めたりからかったりしません。
- ◆ 仲間に入らず独りぼっちでいる友だちは誘い合います。

この「黒門小の約束10」ですが、今年度は、毎週木曜日に一つの項目に絞って振り返りを行っています。毎週一つずつの項目を振り返ることで、書かれている内容を繰り返し確認し、より身近に、具体的に意識することができています。

項目によっては当たり前を守られているものもあれば、「頭では分かっているんだけど、つい…」というものもあります。約束は「決めるだけ、できていない子を叱るだけ」では意味がありません。目標として意識し「頑張れること、できていることを誇れること、当たり前ができるようにすること」が大切です。このことが、「Well-Being(幸せ)の実現」につながると考

えています。また、「今の自分たちにはこのような約束が必要なのではないか」と考える力も大切です。自分たちの約束として意識し、自分たちの学校生活を守るもの、豊かにするものとしていけるようにしたいと思います。

\*

ふれあい月間には、全学級で道徳科の授業をはじめとしていじめに関する授業を実施しました。いじめを事前に防止するための学習やいじめ問題に対応できる力を身に付ける学習、自己の生き方についての考えを深める学習など学年に応じた授業を通して、一人一人が大切にされ、お互いを認め合う関係を作り、いじめゼロを目指します。本校の「学校いじめ防止基本方針」はホームページ <https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310219> に掲載していますのでご覧ください。

### ご協力をお願いいたします

- ・「SumaMachi(スマまち)」 欠席・遅刻等の連絡、学校からの情報配信メール（問合せ先）スマまちサポートセンター(03-6739-3009)  
欠席・遅刻の入力は朝8:20までをお願いいたします。それ以降に入力いただいても確認できないことがあります。きょうだい欠席する場合には連絡帳を持たせてご連絡いただいても結構です。電話の場合には朝8:15までにご連絡をお願いいたします。
- ・「ツイタもん」 登下校状況配信、育ての会のお知らせ  
電池切れにご注意ください。校門通過メールが来ない場合には速やかにツイタもん事務局(0120-833-214)までお問合せください。